

## 講座の受講に関する Q&A

Q1. 実習は座学に並行して行うということですが、具体的に実習の予定日は決まっていますか？

A1. 実習は、あらかじめ特定の実施日が決められているわけではなく、9月から12月にかけてそれぞれ宿題（家庭学習）の形で行っていただき、期日までにその成果物（レポート等）を提出していただきます。ただし、課題ごとに実施期間（ならびに提出期限）などが異なっていますので、ご注意ください。

・施設体験実習（10時間）

実習のうち、「施設体験実習」（介護・福祉施設等でのインターンシップ）については、10月から12月の間に実施する予定としております。

原則として施設体験実習は、講座事務局によって指定された施設において、当該施設の営業日の2日間かけて行われます（例えば、1日5時間×2日間など）。

施設体験実習の具体的な実施日は、各受講生が受入先施設等と日程調整を行うことによって決めていただきます。

・地域の社会資源の把握（10時間）

「地域の社会資源の把握」（地域の行政機関や社協、医療・介護施設等の調査・ヒアリング等）は、9月から10月にかけて行っていただきます。

さらに11月9日の4限に、その成果について受講生にプレゼンテーションを行っていただきます。

・後見実務演習（10時間）

「後見実務演習」（後見開始申立書等の作成）は、後見実務の演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの講義（12月6・7日）を受講した後、およそ2週間かけて行っていただきます。

・選択課題（20時間）

選択課題では、「市民後見NPO立ち上げ」、「親族後見等申立て」、「啓発・相談活動」などの複数の課題のうち、任意の課題を20時間分選択して、9月から12月にかけて行っていただきます。

Q2. 講義を欠席した場合、講座を修了することはできなくなるのでしょうか？

A2. 仮に座学の講義を複数回欠席した場合でも、その補講を受けることによって、講座を修了すること（履修証明書を受け取ることは）可能です。

補講につきましては、原則としてインターネットを活用して実施する予定です。

各日程の講義終了後、当プロジェクトホームページの受講生専用ページにおいて、補講用動画（各講義の内容を録画したもの）を公開いたします。補講は、受講生がその動画を視聴し、補講レポートを提出していただくことによって実施する予定です。

この点、お使いになっているインターネットの接続環境などにより、動画をご覧いただくことが困難な場合、DVDによって補講用動画をご視聴いただくことも可能です（補講用動画が収録されたDVDを郵送いたします）。

**Q3.** 受講料は 7,5000 円となっておりますが、それ以外に、テキスト代や実習費などが別途、必要となりますか？

**A3.** 受講料は、テキスト代や実習費などがすべて含まれた金額となっております。したがって、受講料 7,5000 円以外のお金をお支払いいただくことはございません。

（ただし、実習施設との往復の交通費など、各受講生が負担すべき費用については受講料に含まれておりません。）